

令和3年度 地域づくり表彰 総評

創意と工夫を活かした個性ある地域づくり活動を奨励するため、昭和59(1984)年から始まり、今回が第38回目となる「地域づくり表彰」につきましては、本年においても、全国各地から計30もの多様な事例が推薦されて参りました。

厳正な審査の結果、今年度は、総合的に優れた最優秀賞に相当する「国土交通大臣賞」を2つの部門毎に1事例ずつ、地域活性化への顕著な功績を賞する「全国地域づくり推進協議会会長賞」に2事例、国土の利用・整備・保全等に係る功績を賞する「国土計画協会会長賞」に1事例、地域産業の振興等に係る功績を賞する「日本政策投資銀行賞」に1事例、地域活性化への功績を賞する「地域づくり表彰審査会特別賞」に4事例と、計10事例を表彰することとしました。

いずれも、「活動の広がり」「継続性」「地域資源の活用」「創意工夫」「成果」の観点から優れており、審査会において高い評価を得たものです。

特に、今年度の事例においては、女性の活躍が目立ち、「利他」の精神に基づく、魅力的な活動が多い印象を強く受けました。

受賞各団体におかれましては、表彰を期に、ますますの活発な取り組みを進められることをご祈念申し上げるとともに、全国各地の皆さまが、各表彰事例をご参照いただくことにより、個性的で魅力ある、更に新たな地域づくりの輪が広がっていくことを期待しております。

令和3年度地域づくり表彰審査会

座長 坂田 一郎（東京大学総長特別参与 工学系研究科教授）